



平成 22 年 1 月 26 日

各 位

会 社 名 バリューストック株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 プライアン ネルソン
 (コード番号 2491 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役最高財務責任者 高橋 敬一
 (TEL . 03 - 4590 - 3600)

関係会社株式評価損の計上及びのれん相当額の減損の計上、業績予想の修正、ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ

当社が保有する関係会社株式のうち実質価額が著しく下落したものについて、平成 21 年 12 月期の個別決算において、関係会社株式評価損を特別損失として計上することといたしました。同様に、平成 21 年 12 月期の連結決算において、のれん相当額の減損を特別損失として計上することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。これを踏まえ、平成 21 年 9 月 11 日に公表した平成 21 年 12 月期の通期業績予想について、下記の通り修正いたします。

また、本件の経営責任を明確にするため、本日開催の取締役会において、役員報酬の減額を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 12 月期における関係会社株式評価損等の総額

	個別	連結
(A) 平成 21 年 12 月期第 4 四半期会計期間(平成 21 年 10 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日まで)の関係会社株式評価損等の総額(=イ-ロ)	279 百万円	184 百万円
(イ) 平成 21 年 12 月期第 4 四半期累計期間(平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日まで)の関係会社株式評価損等の総額	279 百万円	184 百万円
(ロ) 直前四半期(平成 21 年 12 月期第 3 四半期)累計期間(平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 9 月 30 日まで)の関係会社株式評価損等の総額	-百万円	-百万円

当社の決算期末は 12 月 31 日です。

純資産額、経常利益額、当期純利益額に対する割合

	個別	連結
(B) 平成 20 年 12 月期末の純資産	3,696 百万円	3,646 百万円
(A/B×100)	7.6%	5.1%
(イ/B×100)	7.6%	5.1%
(C) 平成 20 年 12 月期の経常利益	220 百万円	93 百万円
(A/C×100)	126.8%	197.0%
(イ/C×100)	126.8%	197.0%
(D) 平成 20 年 12 月期の当期純利益	180 百万円	188 百万円
(A/D×100)	154.8%	98.0%
(イ/D×100)	154.8%	98.0%

直近に終了した事業年度の当期純利益が連結個別それぞれ損失計上のため、最近 5 事業年度の算術平均額としております。

(損失の事業年度についてはゼロとして計算しております。)

2. 減損の内容

当社持分法適用関連会社である株式会社ジェーピーツーワン株式の資産性について、将来の業績を厳格に見積り、その回収可能性について保守的に検討した結果、同社株式取得時に想定していた収益の実現に至らず、当初の回収計画に遅れが生じているものと判断し、次のように減損を実施し、特別損失を計上いたします。

連結：のれん相当額の未償却残高の減損 184 百万円

個別：関係会社株式評価損 279 百万円

3. 平成 21 年 12 月期 通期業績予想の修正について

(1) 連結業績予想数値の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	6,580	217	183	184	968.35 円
今回修正予想（B）	6,610	246	208	23	121.08 円
増減額（B - A）	30	29	25	161	-
増減率	0.5%	13.4%	13.7%	87.5%	-
（ご参考） 前期実績（平成 20 年 12 月期）	6,786	146	93	95	502.66 円

(2) 個別業績予想数値の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	6,410	227	232	234	1,231.49 円
今回修正予想（B）	6,441	254	260	18	97.33 円
増減額（B - A）	31	27	28	252	-
増減率	0.5%	11.9%	12.3%	-	-
（ご参考） 前期実績（平成 20 年 12 月期）	5,738	212	220	45	240.53 円

4. 修正理由

当社の事業環境と相関を有し順調な成長を続けてきたインターネット広告市場は、期初からの経済情勢の悪化による広告出稿抑制の影響を受けておりますが、このような状況下にあっても、当社はさまざまな施策によって成果報酬広告の需要喚起とアフィリエイトネットワークの拡充に努め、パートナーサイト数、アフィリエイト成果件数、流通総額といった主要な業績管理指標の向上を達成しました。この結果、期央に連結子会社の Sozon 株式会社を解散した影響はあったものの、既往の施策が奏功したことにより、売上高は前年同期並みの水準を維持できる見込みです。営業利益につきましては、Sozon 株式会社の解散によるコスト減少や販管費の抑制により前回業績予想数値を上回る見込みです。同様に、経常利益につきましても前回予想数値を上回る見込みです。一方、個別決算において株式会社ジェーピーツーワンに係る関係会社株式評価損を特別損失として計上するため、当期純利益は前回予想数値を下回ることが見込まれます。また、連結決算においても、同社に係るのれん相当額の未償却残高の減損を実施するため、当期純利益は前回予想数値を下回る見込みです。

上記の状況により、連結、個別双方において当期純利益の前回予想数値を 30%以上下回る見込みであることから、通期業績予想を修正いたします。

5. 役員報酬の減額について

(1)内容

取締役（代表取締役を含む）： 役員報酬月額の5～10%を減額

(2)対象期間

平成22年4月より平成23年3月まで（1年間）

(注) 本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報による判断及び見通しに基づいて作成したものであり、実際の業績はさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化により、上記予想数値と異なる可能性があります。

以 上